

お知らせ・行事予定

わいわいみ・な・み市場 再開します！
とき **5月26日(木)から**

毎週木曜日午前 10時～午後 3時

皆さん農産物の提供にご協力ください。
出荷される方は 9時 30分までをお願いします。



★ヨチヨチランド

日時 5月14日(土) 10時～
内容 「開講式」



竹野南学園

日時5月24日(火)13時30分～
内容 ・開講式



NPO 法人わいわいみ・な・み 令和 4 年度総会
今年度の総会はコロナウイルス感染予防のため、書面総会といたします。会員の皆様には委任状での総会とさせていただきます。また案内、資料等は後日送付させていただきます。
総会予定日 5月27日

各事業のお問合せ・申込は 竹野南地区コミュニティセンターまで 電話 48-0008

日	曜日	5月 活動・事業・センター貸館状況
5月5日	木	森本お花の会 20:00～
5月9日	月	ヨガ教室 20:00～
5月14日	土	ヨチヨチランド 10:00
5月20日	金	おもてなし珈琲 13:30～
5月23日	月	ヨガ教室 20:00～
5月24日	火	竹野南学園 13:30～
5月27日	金	NPO 法人わいわいみ・な・み総会

- 毎週月曜日 玄さん元気教室 13:30～
- 毎週水曜日 食事サービス 9:00～11:30
- 〃 ささえ愛通所サロンわいわいみ・な・み 10:00～15:00
- 毎週木曜日 喫茶よつば 10:00～15:00



「みんな 仲良く 未来に向けて」

NPO法人

2022.4.25

わいわいみ・な・み 65号

編集:NPO法人わいわいみ・な・み

豊岡市竹野町森本 984-1 TEL:48-0008(FAX兼用)

令和4年度 竹野南地区区長協議会新役員

新年度役員決定

今年1年よろしくお祈りします。

会長(森本区) 太田垣 健作

副会長(下村区) 尾口 正信 副会長(三原区) 田中 長太郎

鳥取大 学生からの提案

竹野南地区が持続可能な地域になるためのアイデア

竹野南地区に来て、南の魅力、強みなどを知り今後どのように取り組めば、地域が継続していけるかという視点で学生たちが新しい時代に合わせた地域づくりを提案してくれました。

夢のような話や、目からウロコの発想など若い柔軟な頭ならではの、アイデアが出てきて、発表会に参加した住民の皆さんは感心してしまいました。

提案内容を簡単に紹介します。

★プチ田舎体験/空き家を利用してワーケーション

子供や、ワーケーションに興味のある人を対象に南地区の良さを感じてもらう

★特産品から小さな経済の仕組みづくり/三原味噌の復活と、活用

三原味噌を使ったスイーツや、料理、イベントなどで南地区を知ってもらい、来てもらう。

★暮らしを支える仕組み/子育て、交通、住民や子供の地域愛を育む、観光客の取り込みなどを行う

子育て親子を対象に「竹野探検ツアー」をして竹野の魅力を知ってもらう。イナカーが廃止になること、高齢者が多いことから「見守り交通」として住民による有料送迎・付き添いなどの提案。観光客や他地域からの人を呼び込むために豊岡市内には道の駅が少ないので「道の駅」を南小学校を利活用して作る。



さよなら 竹野南小学校

竹野南小学校閉校式・森本へき地保育園閉園式・閉校記念行事

3月27日に、南小学校と森本保育園の閉校・閉園式が行われました。

式典には、市長はじめ教育関係者、保護者、地域住民、小学校卒業生など様々な方が参加しました。なかには、転勤してしまった駐在さん家族や、遠くに引っ越して暮らしている南出身者もあり、南小学校や保育園の閉校を惜しみ、懐かしむ方が参加し素敵な式典となりました。

式典の後は、PTA 役員による記念行事もあり、懐かしいスライドや、児童たちのうたなどを聞いて涙ぐむ人も…

児童たちは、4月からは竹野町内の小学校が1つになり、新しい友達と新しい思い出を作っていきます。子どもたちの4月からの門出を応援し、新しい南地区の歴史を重ねていきましょう。



ななちゃんの1年

地域おこし協力隊 赤嶺彩世の報告

この1年は主にコミュニティセンターの事業を中心に関わらせて頂き、他にもコロナワクチンの申し手伝いや熱中症注意喚起の「ななちゃんカフェ」などの活動をしてきました。

すっかり竹野南を好きになり、住民の方の暮らしに関わる活動をする中で「好きな地域で健康で長く暮らすことができる仕組みを作りたい」という想いが強くなりました。活動に関してはまた適宜告知致します。

今年度も多くの住民さんと関わる事ができると嬉しいです。

どうぞよろしくお願ひします。



田畑を守る！

竹野南営農組合では、令和4年度に獣害対策として、いくつかの取組みを行います。4月6日には三原区の茨木徹さんの田んぼで、猪の被害を防止するために日亜鋼業(株)と県森林動物研究センター、南営農組合の三者によって獣害防止フェンスの設置による実証実験をしました。また、今後は狩猟免許の取得者を増やし南地区の獣害対策に取り組む予定にしています。

